



興和電設杯 第51回 あやめ賞 (M2)

水沢競馬場 3歳牝・ダート1400m

3月22日 (日) 18:05発走

あやめ賞の創設は1974年。当初は特別で実施されていましたが、2014年から重賞へ格上げ。3歳牝馬路線はこの一戦からスタートし、1着馬から3着馬には“GRANDAME-JAPAN2026”3歳シーズン・岩手牝馬クラシックー冠目「第26回留守杯日高賞」(4月19日・日 水沢1600m)への優先出走権が与えられます。2023年から留守杯日高賞の実施時期が早まったため、それに伴って重賞・あやめ賞は3月に移行しました。

【注目馬情報】

★セイクリスティーナ 牝3歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

昨年、芝ダートを問わず大活躍。芝では若鮎賞、芝交流・ジュニアグランプリを連勝し、ダートでも若駒賞、寒菊賞を牡馬相手に優勝しました。さらに地方競馬全国交流・東京2歳優駿牝馬(大井)で5着に健闘。以上の結果から2歳最優秀馬、最優秀牝馬に選ばれました。冬期間はテンコートレセン(福島)で鍛え直して帰郷。満を持してあやめ賞から始動します。当面の目標は牝馬交流・留守杯日高賞ですが、状況次第では牡馬クラシックに名乗りを上げる可能性もあり、動向は各方面から熱い視線を集めています。

★グランドライブ 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

高知デビュー戦快勝を含めて5戦1勝3着3回。3戦目8着に沈みましたが、スタートで出遅れを喫し、終始インに包まれたのが致命傷でした。その後、園田へ移籍して2連勝をマーク。直後に岩手入りしました。父ゴールドドリーム、母父サウスヴィグラスと典型的なダート血統。岩手に新風を吹き込むか期待が高まります。

★イタズラベガ 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

通算1勝のみですが、2着5回。水沢を舞台に若駒賞、寒菊賞、金杯で2着に粘りました。今季初戦・スプリングカップは6着でしたが、ディオニスが強すぎたため。果敢に逃げましたが、早めに交わされて失速しました。軽快な先行力と強靱な粘りが武器。マイペースに持ち込めれば反撃必至です。

★セローム 牝3歳 菅原右吉きゅう舎・水沢

デビュー2戦目を6馬身差で圧勝し、重賞・ビギナーズカップ、寒菊賞、前走・金杯で3着を確保しました。休み明け初戦のハンデはありますが、小柄な牝馬で仕上げに手間取らないはず。いきなり好勝負に持ち込みます。

★マイダスタッチ 牝3歳 櫻田浩樹きゅう舎・盛岡

昨年2勝2着2回の成績でシーズンを終了し、冬休み明けのスプリングカップ5着。今回の出走メンバーでは最先着を果たしました。2勝はいずれも盛岡戦でしたが、流れが合えば水沢コースもまったく問題ありません。

★ウェズン 牝3歳 三野宮通きゅう舎・水沢

盛岡1000mで行われた2歳新馬戦を完勝。2着に退けたグローラヴェンコはその後2連勝をマークしました。昨年9月のレース後、戦列離脱しましたが、ひと回り大きくなって帰郷。成長は疑いありません。

文 松尾 康司